

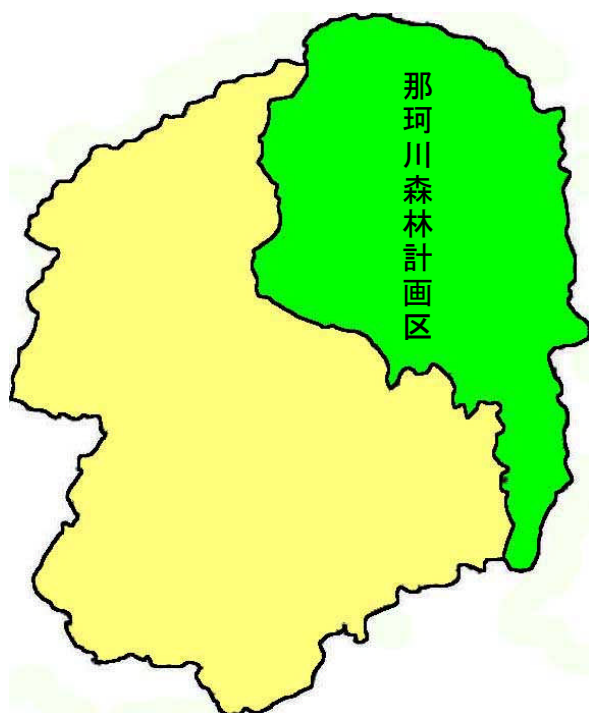
平成22年度に樹立・策定する那珂川計画区の概要(案)

1 現行計画の概要



ちやうす
茶臼岳（那須町）

栃木県



（１）森林計画の概要

ア 位置

当計画区は、栃木県の北東部に位置し、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、茂木町、塩谷町、那須町及び那珂川町にある国有林野41千haを対象。

イ 国有林の特徴

- ・ 八溝地区、高原地区
スギ・ヒノキを主体とした人工林が多く、下流集落等の重要な水源。
- ・ 那須地区
日光国立公園にも指定され、優れた自然環境の維持及び利用。
- ・ 塩原地区
渓谷沿いに自然観察教育林、風景林のほか、スキー場やキャンプ場。

ウ 森林資源の状況

- ・ 天然林が約25千ha、人工林が約14千ha。
- ・ 人工林のうち、約8割が間伐期（21年生～55年生）。

エ 機能類型別面積

水土保持林が約22千ha、森林と人との共生林が約17千ha、資源の循環利用林が約2千ha。

(2) 現行計画の概要

ア 保護林及び緑の回廊

保護林	5箇所	8,909 ha
緑の回廊	1箇所	18,586 ha

イ レクリエーションの森

自然休養林	1箇所	1,765 ha
自然観察教育林	6箇所	872 ha
森林ｽﾎﾟｰﾂ林	1箇所	22 ha
野外ｽﾎﾟｰﾂ地域	6箇所	776 ha
風景林	7箇所	1,444 ha
風致探勝林	1箇所	28 ha
その他	7箇所	7 ha

ウ 国民参加の森づくり

ふれあいの森	214 ha
遊々の森	186 ha

エ 伐採・保育事業量

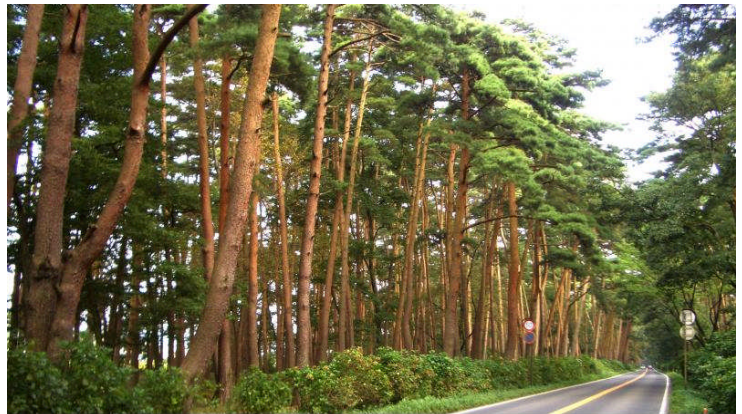
主伐	171,823 m ³
間伐	231,285 m ³
造林	386 ha
下刈	1,590 ha
つる切	378 ha
除伐	526 ha
枝打	243 ha

オ 林道の事業量

林道開設	4路線	14,850 m
林道改良	60路線	21,400 m

カ 治山の事業量

溪間工・山腹工	34箇所
保安林整備	2,200 ha



保護林（那須街道アカマツ林木遺産資源保存林）



レクリエーションの森
（奥那須自然休養林）

2 次期計画の基本的な考え方

次期計画では、国土の保全、水源のかん養のほか、国民の皆さんからの期待が高い地球温暖化の防止や生物多様性の保全などにも取り組んでいく考えです。

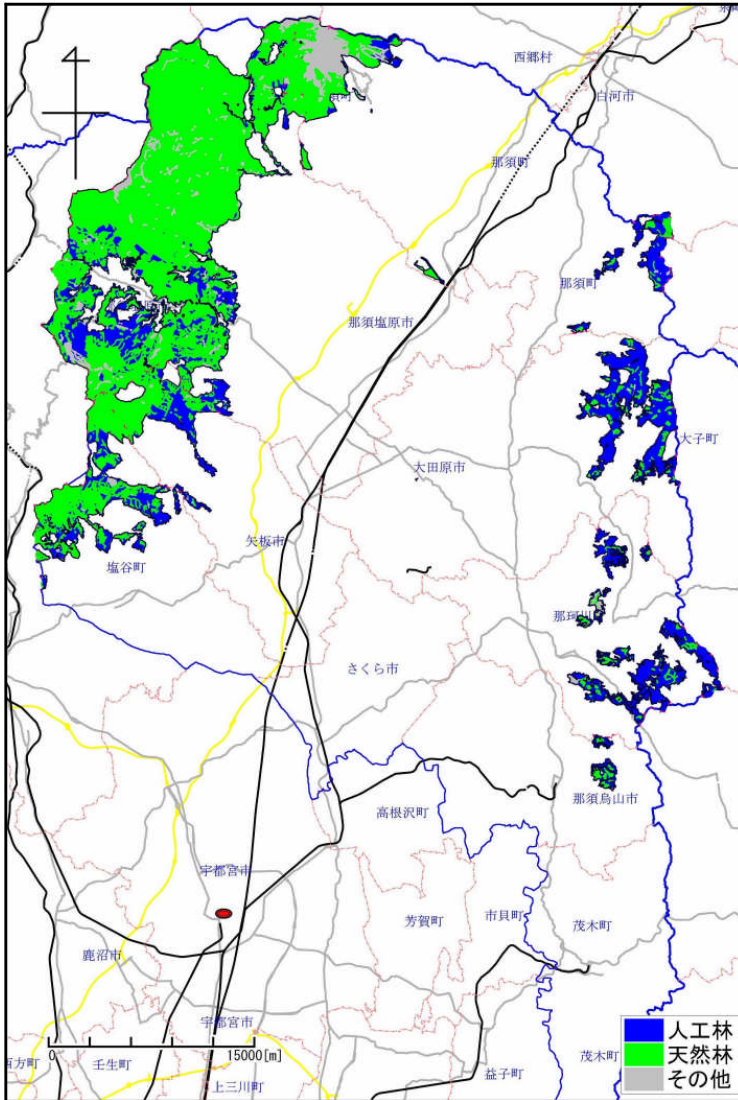
- (1) 地球温暖化防止のための森林吸収源対策やそれ以外の公益的機能の発揮のため、間伐などの森林整備を推進。
- (2) 保護林などでモニタリング調査を実施し、今後の保護林などの設定や取扱いに反映。
- (3) 希少野生生物の保護対策を推進。
- (4) ボランティア団体などによる森林づくりへの支援。
- (5) 治山事業により荒廃地の復旧整備や保安林の整備を計画的に推進。
- (6) 路網と高機能林業機械を組み合わせた低コスト・効率的な作業の普及。

市町村別森林面積等

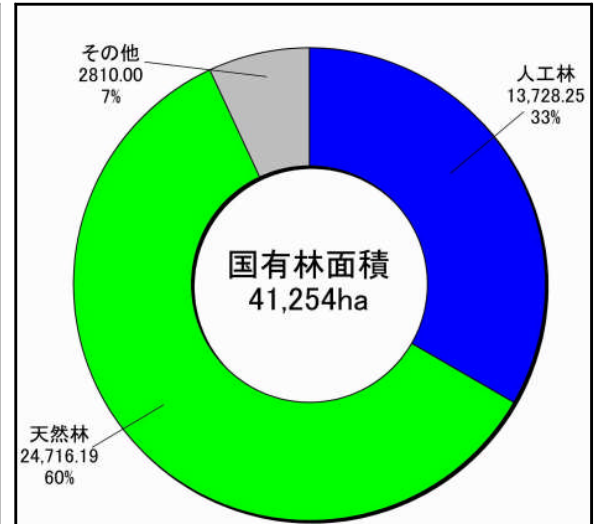
市町村名	市町村面積 (ha)	森林面積 (ha)	うち国有林 (ha)	森林率 (%)	国有林率 (%)
大田原市	35,412	15,312	3,030	43	20
矢板市	17,066	9,789	2,156	57	22
那須塩原市	59,282	38,588	24,926	65	65
さくら市	12,546	2,515	—	20	—
那須烏山市	17,442	8,130	323	47	4
茂木町	17,271	11,111	—	64	—
塩谷町	17,599	11,336	4,066	64	36
那須町	37,231	23,584	4,185	63	18
那珂川町	19,284	12,264	2,568	64	21
計	233,133	132,628	41,254	57	31

人工林・天然林

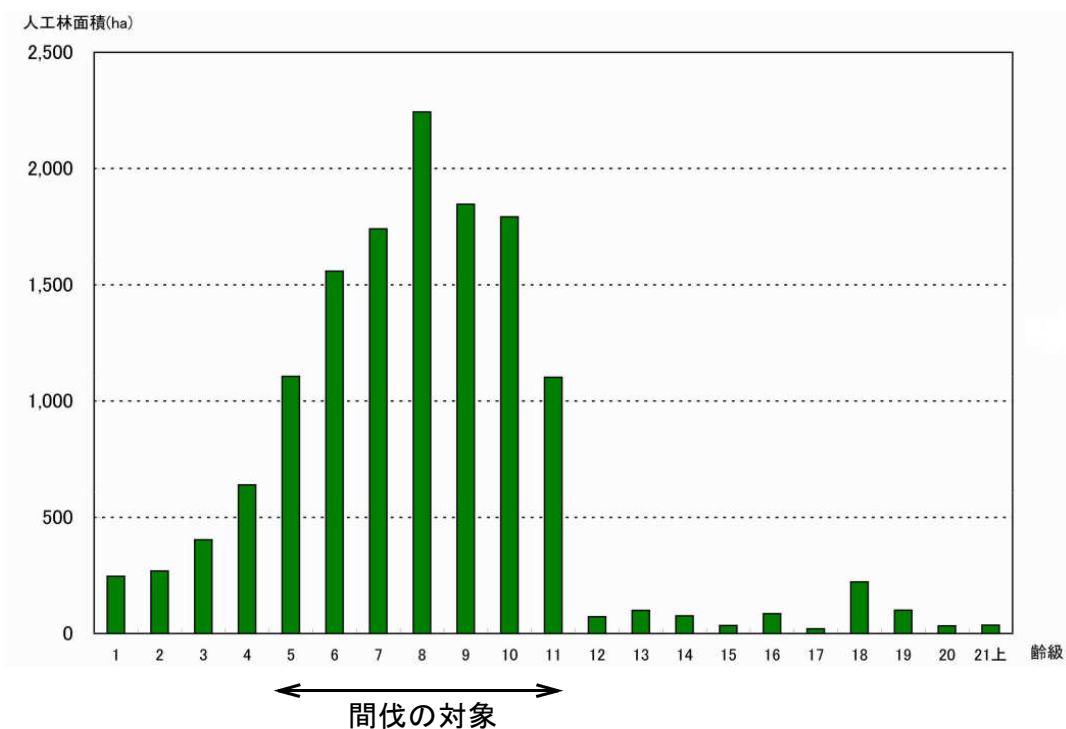
人工林・天然林の分布状況



人工林・天然林別割合



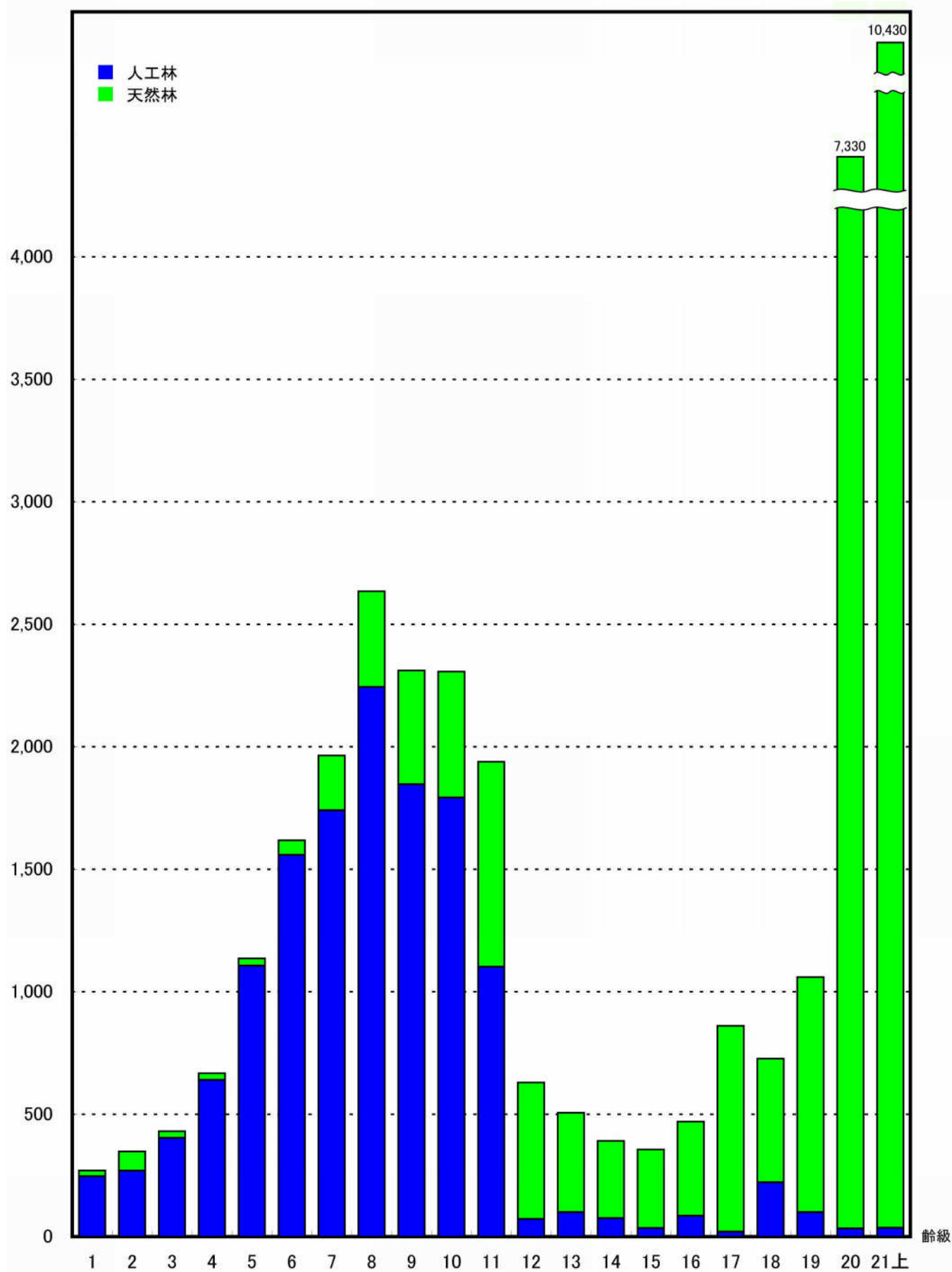
人工林の齢級別面積



人工林の齢級別では5齢級（21年生）～11齢級（55年生）が多く、間伐の対象となる森林が多いことから、計画的な間伐を実施する必要があります。

人工林及び天然林の齢級別面積

面積(ha)

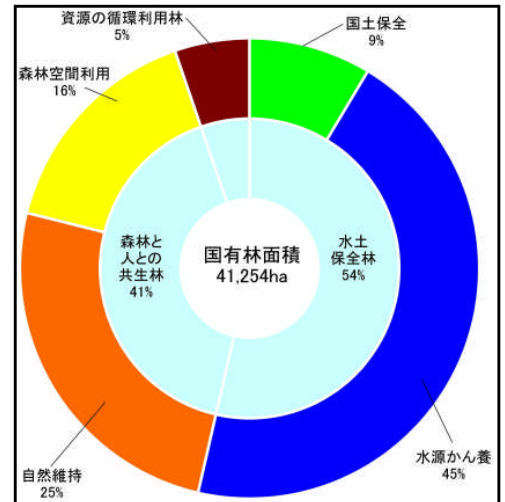
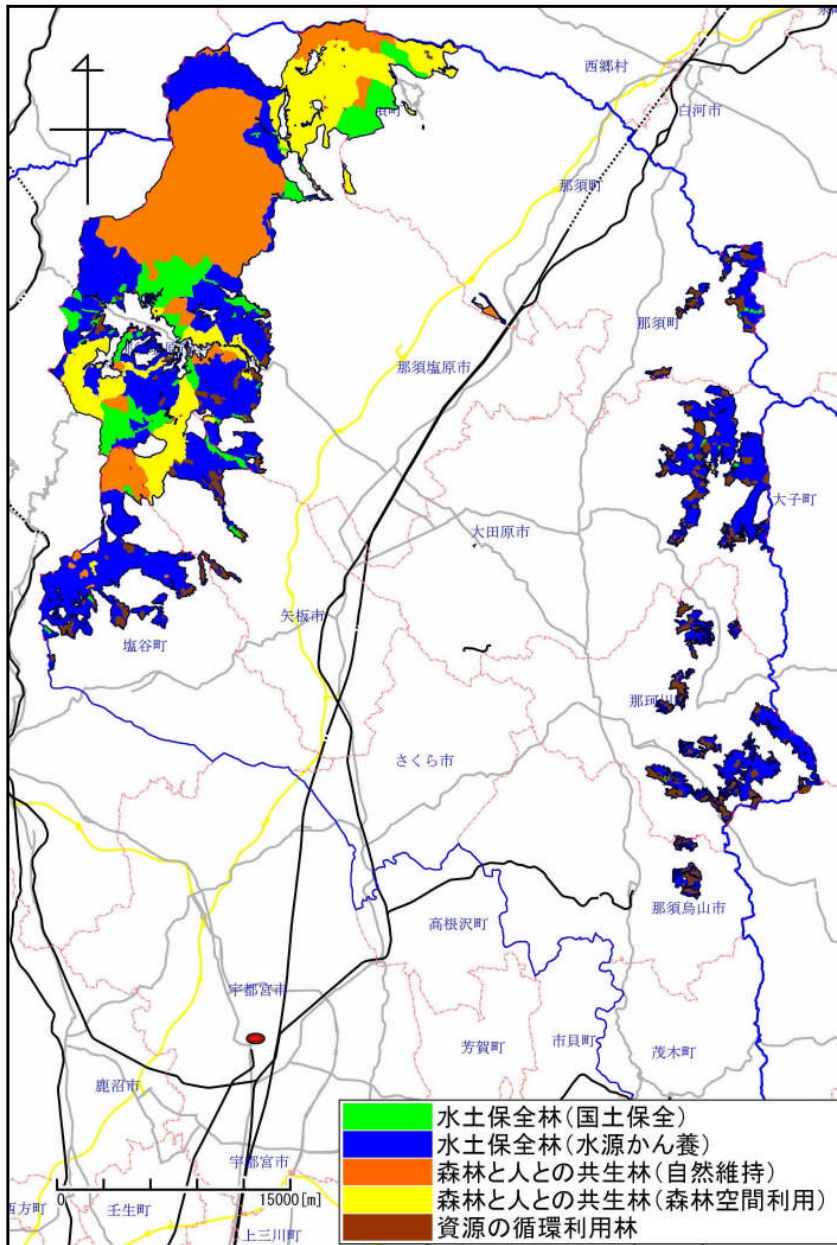


機能類型

機能類型区分について

国有林を水土保持林、森林と人との共生林、資源の循環利用林に区分しそれぞれの機能類型にふさわしい管理経営を推進。

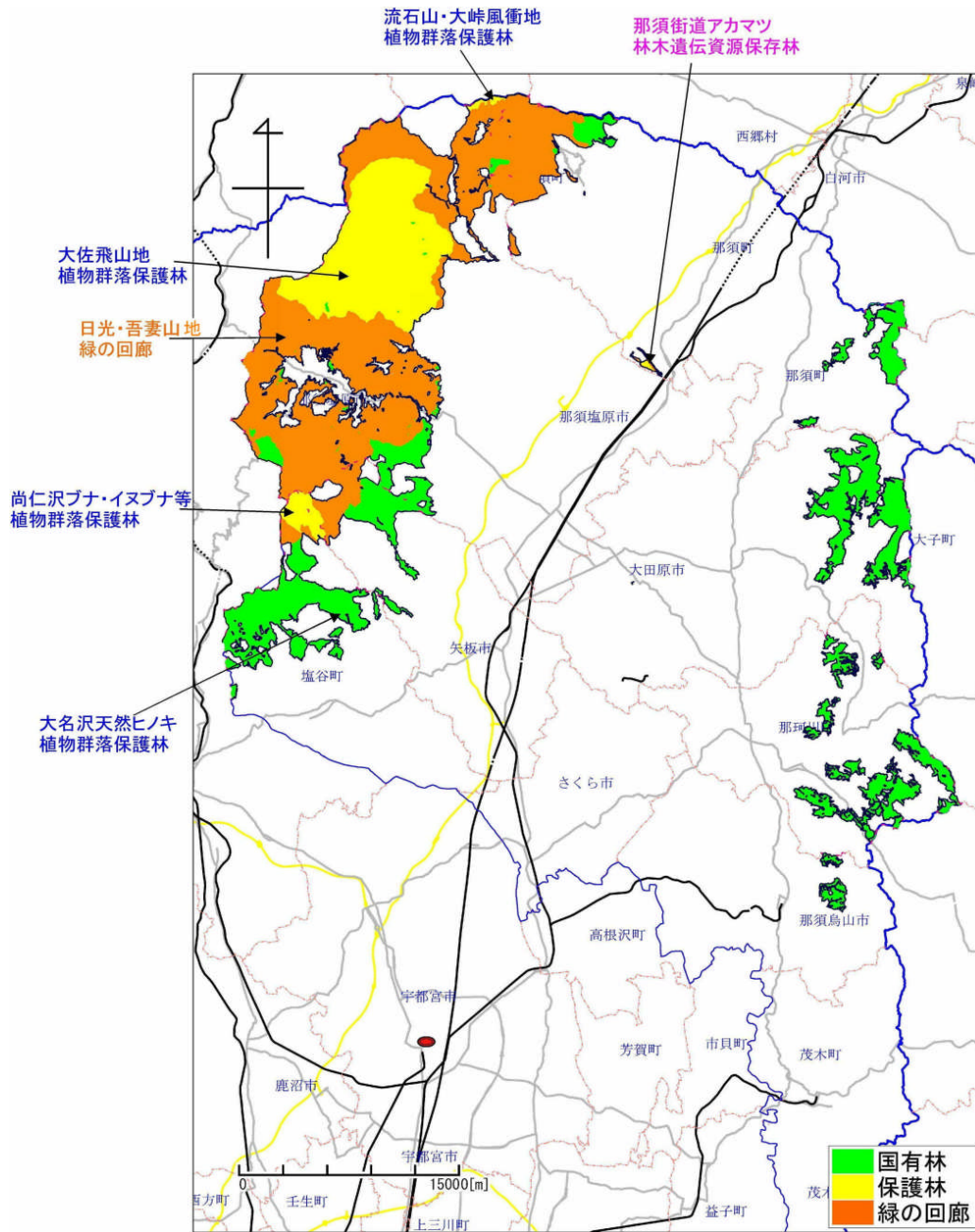
水土保全林 (国土保全タイプ・水源かん養タイプ)	森林と人との共生林 (自然維持タイプ・森林空間利用タイプ)	資源の循環利用林
目標とする森林の姿		
土砂流出・崩壊の防備、水源のかん養等安全で快適な国民生活を確保することを重視する森林	原生的な森林生態系等貴重な自然環境の保全や、国民と自然のふれあいの場としての利用を重視する森林	環境に対する負荷が少なく、再生産が可能な素材である木材の効率的な生産を行うことを重視する森林
森林の取扱い		
樹根や表土の保全、下層植生の発達が期待される育成複層林施業、長伐期施業等を推進	野生動植物の生息・生育する森林の保護・整備、森林浴や自然観察等保健・文化・教育的な活動の場の整備、自然景観の維持等を推進	森林の健全性を確保しつつ、多様化する木材需給に応じた林木を育成するために適切な更新、保育及び間伐を推進



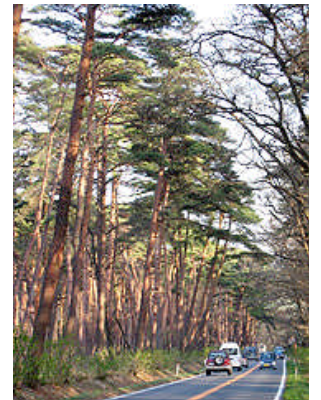
当計画区の機能類型は、水土保持林54%、（国土保全タイプ9%、水源かん養タイプ45%）、森と人との共生林41%（自然維持タイプ25%、森林空間利用タイプ16%）、資源の循環利用林5%となっています。

例えば大佐飛山地は自然維持タイプ、茶臼岳周辺等は森林空間利用タイプ、八溝山地や高原地区は水源涵養タイプ及び資源の循環利用林となっています。

保護林・緑の回廊



大佐飛山地植物群落保護林

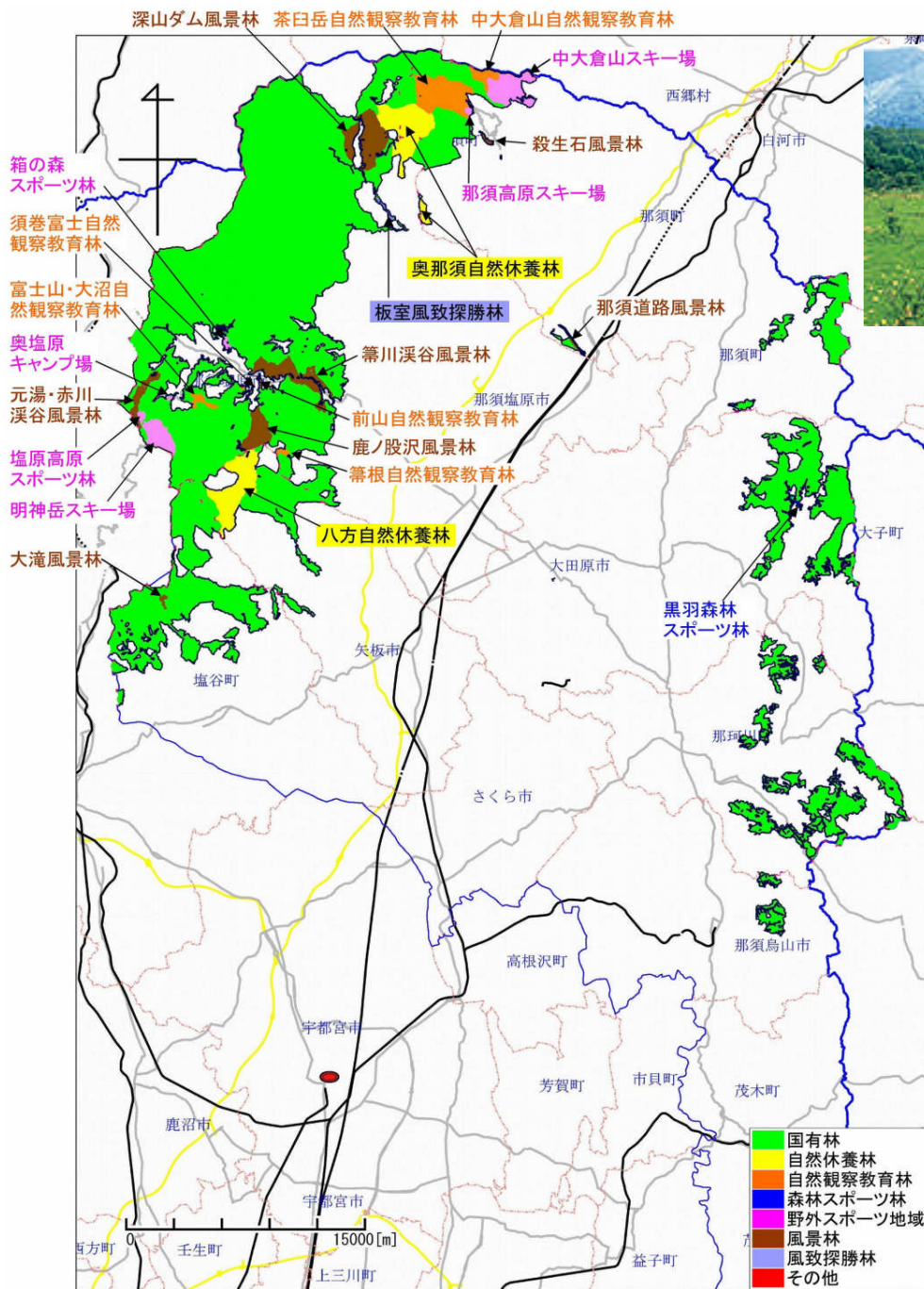
那須街道アカマツ
林木遺伝資源保存林

名 称	特 徴	面積(ha)
林木遺伝資源保存林	主として林木の遺伝資源を保存する	42
植物群落保護林	我が国を代表するものとして保護を必要とする植物群落を保護する	8,868
緑の回廊	保護林同士を連結して野生動物の移動経路を確保するとともに生態系の保全を図る	18,586



那須街道アカマツ林木遺伝資源保存林の保護(那須町)

レクリエーションの森概要

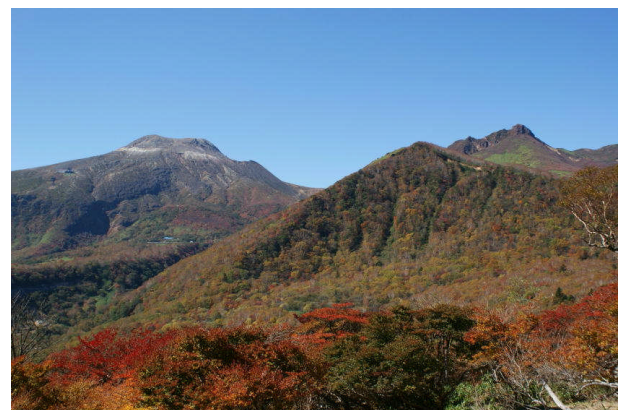


奥那須自然休養林



八方自然休養林

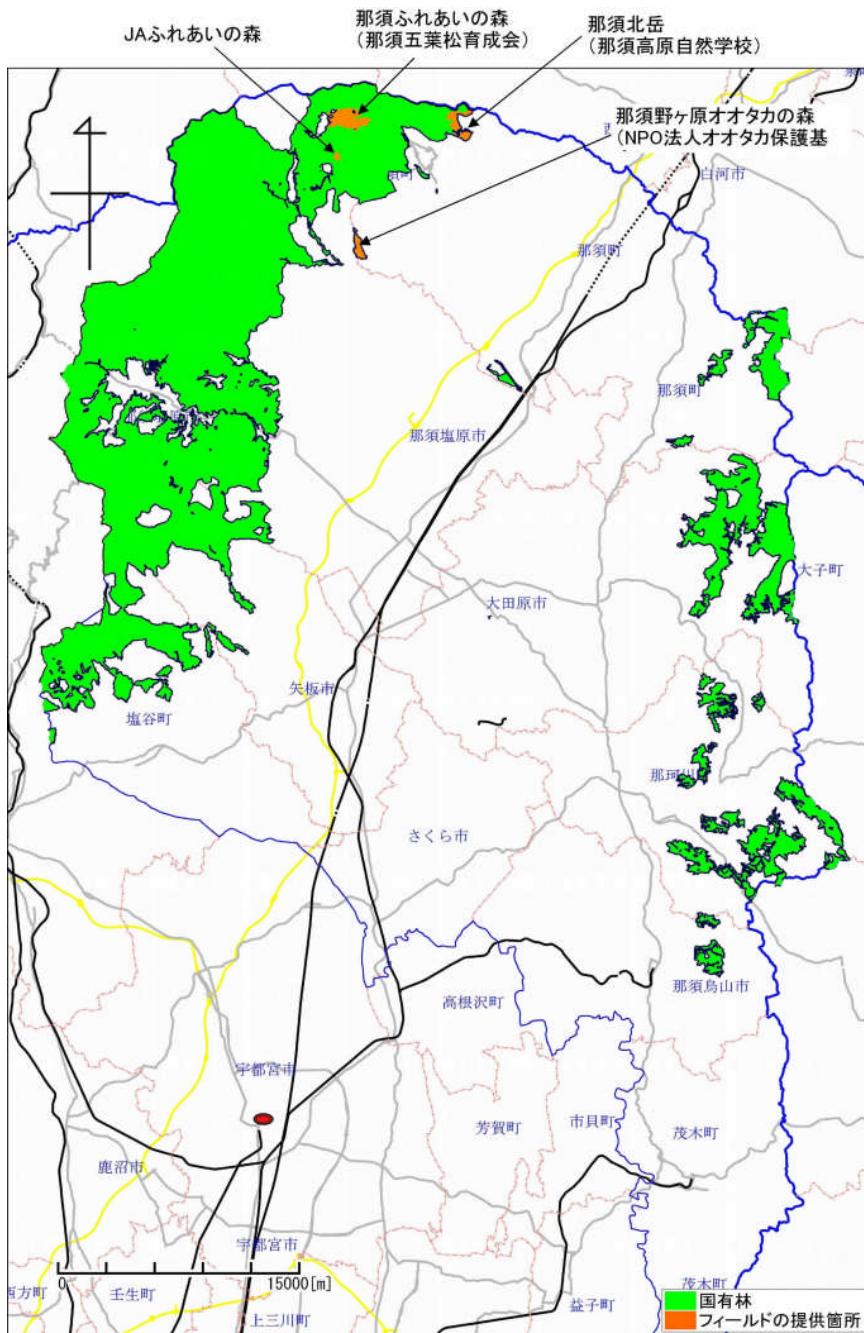
名 称	特 徴	面積(ha)
自然休養林	人と森林とのふれあいの場としてゾーン分けした地域	1,772
自然観察教育林	当該地方の特徴的な自然や特異な自然景観等を有し自然科学教育等に適した地域	872
森林スポーツ林	森林を主体とする野外スポーツの場として適した地域	22
野外スポーツ地域	スポーツ施設及び滞在施設等の設置に適した地域及びその周辺の森林	776
風景林	レクリエーション利用上の近景林、遠景林として風致の維持に配慮する必要がある地域	1,444
風致探勝林	湖沼、渓谷と一体となって優れた自然美を構成している森林等で森林内における休養活動を助長することに適した地域	28
その他	単独でレクリエーションの施設の用に供される地域	7



中大倉山自然観察教育林から朝日岳・茶臼岳の眺望(那須町)

国民参加の森づくり

森づくり活動や森林とのふれあいの場として各団体にフィールドの提供を行っています。



那須ふれあいの森	205ha
J A ふれあいの森	9ha
那須野ヶ原オオタカの森	79ha
那須北岳	107ha



広葉樹の森づくり(オオタカ保護基金・那須町)